

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームくしばる

作成日 : 令和 3年 1月 25日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束の適正化のための対策を検討する委員会(身体拘束適正化委員会)は、公平、透明性に配慮し、委員として第三者の参加が望まれる。	第三者を交えた身体拘束委員会の実施	第三者に参加の呼びかけを行い3か月に1回、委員会を開催し対策を検討する。	6か月
2	12	事業所においては、利用者一人ひとりの様子を暮らしの日記に記録し、利用者の状況に合わせた支援が実践されているが、さらに利用者がその人らしく生き生きと生活できるような介護計画書の作成に期待したい。	利用者がその人らしく生き生きと生活できるような介護計画書の作成	個人の持っているニーズ・能力を把握し、職員で共有する。その内容を介護計画に反映出来るようにする。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。